つくば発　～創薬・バイオベンチャー特集～

ベンチャー企業ミートアップ

成長意欲の高い「つくば発！」のベンチャー企業が
今後の成長に向けたビジネスプランを発表することで、
VC・大企業・金融機関・支援機関等とのつながりを創出します！

外部資金の調達　**販路開拓・人材紹介**　**事業会社との提携**

2020年 11月12日 木 15:00-16:40

株式会社アークメディスン
創薬合成技術HiSAP®による新薬候補化合物の創出

セルメディシン株式会社
求む、出資者、提携企業！
Cellm-001による初発膠芽腫治療効果・医師主導治験フェーズIII

ときわバイオ株式会社
世界に負けない！　遺伝子治療・再生医療の実用化に向けてますます
広がるステルス型RNAベクターの可能性

アクシオンリサーチ株式会社
「健康を科学する」
健康位置と疾患リスクの可視化技術と健康増進プログラム

supported by

※お申込みはつくば研究支援センターＨＰから

主催：関東経済産業局、関東財務局、独立行政法人中小機構基盤整備機構、株式会社つくば研究支援センター

株式会社アークメディスン　代表取締役　田中　圭悟		設立：2019年2月
テーマ	創薬合成技術HiSAP®による新薬候補化合物の創出	期待事項
【事業概要】 世界で知財化した独自の創薬合成技術HiSAP®を用いた新薬候補化合物の創出。HiSAP®を用いることにより、通常3～5年かかる新薬候補化合物の創出を約1年で実現する。新薬候補化合物を次々と見出し、製薬企業に提供することで、多様な医療ニーズの充足に貢献する。 今回のプレゼンでは、①創薬合成技術HiSAP®、②新薬候補化合物の創出ビジネス、③上場に向けた事業計画、の3点を紹介する。		資金調達 業務提携
PR事項	株式会社アークメディスンはBlockbuster TOKYO 2018の支援の下、エーザイ株式会社からスピンオフし、つくばで起業した創薬ベンチャーである。HiSAP®は創業者の田中がエーザイ時代に日常業務の傍ら開発を主導し完成させた技術であり、本技術に関わる知財がエーザイからアークメディスンに独占ライセンスされている。 当社のように、知財化した創薬合成技術を保有し新薬創出ビジネスをおこなっている企業は、国内はもとより世界でも例がない。起業後わずか1年半で様々な新薬候補化合物の発見に成功し、複数の製薬企業と提携に向けた議論も始まっている。	

セルメディシン株式会社　代表取締役　大野　忠夫		設立：2001年7月
テーマ	求む、出資者、提携企業！Cellm-001による初発膠芽腫治療効果・医師主導治験フェーズIII	期待事項
手術で切除したがん組織は必ずホルマリン漬けにて化学固定され、パラフィン（蝋）に埋め込まれて極薄い切片にされ病理診断に付されるが、固定がん組織はほとんど余る。余った固定組織を原料にして作製し、がん患者自身に投与するのが「自家がんワクチン」で、がん再発予防・転移防止・微小がん治療を目的とする。その脳腫瘍版がCellm-001である。これは世界で唯一の独自技術である。 「最悪中の最悪のがん」である脳腫瘍のうちの膠芽腫の治療、自家がんワクチンの特徴、低い副作用、臨床効果、医師主導治験フェーズIIIの計画、ロードマップ、市場サイズ・競合技術、出資者・提携企業の募集について紹介する。		資金調達 業務提携
PR事項	2001年　設立、理研発＆筑波大発ベンチャー 2002年　三井住友銀行ベンチャー育成基金受賞 2006年　Japan Venture Award 2006 企業家部門奨励賞受賞 2013年　つくば国際戦略総合特区課題「脳腫瘍に対する自家がんワクチンの開発」共同研究拠点設置 2015年　第3回常陽ビジネスアワード奨励賞受賞 現在に至るまで、臨床研究にてフェーズI、IIa（2本）、IIbを実施してきた実績により、PMDAからいきなり治験フェーズIIIに入ってよいとの許可を得ている。	

ときわバイオ株式会社　代表取締役　松﨑　正晴		設立：2014年12月
テーマ	世界に負けない！　遺伝子治療・再生医療の実用化に向けてますます広がるステルス型RNAベクターの可能性	期待事項
世界中で遺伝子治療薬の開発・製造が進むなか、国内では産総研が長年「細胞質での持続発現型ベクター」の研究に取り組んできた。その中でもステルス型RNAベクター（SRV）は細胞に障害を与えることなく10個以上の遺伝子を同時に細胞に導入することができる世界で唯一の遺伝子導入技術であり、当社は2015年に産総研技術認定ベンチャーの認定を受けてSRVの実用化に取り組んでいる。現在、AMEDの２つの研究開発基盤事業に採択され、再生医療・遺伝子治療の産業化に向けた技術開発を進めており、世界に比べて周回遅れの日本の遺伝子治療の起死回生に、再生医療の実現に、ウィズコロナ・アフターコロナのプラットホーム技術としても提供していきたい。		資金調達 業務提携 販路拡大
PR事項	2013年　中西（産総研）の研究が文部科学省・JSTの大学発新産業創出拠点プロジェクト（START）事業に採択 2014年　会社設立 2015年　産総研技術認定ベンチャーに認定、本社・研究部門を産総研第5事業所に移転 2016年　研究部門を産総研に残し、本社をつくば研究支援センターに移転 2017年　資金調達（シリーズA） 2018年　AMED「遺伝子・細胞治療研究開発基盤事業」に「安全性の高い遺伝子・細胞治療を実現するステルス型RNAベクター技術の確立」で採択 2019年　AMED「再生医療・遺伝子治療の産業化に向けた基盤技術開発事業（再生医療シーズ開発加速支援）」に「超高性能・汎用細胞リプログラミング技術の実用化」で採択 2020年　つくば研究支援センターG棟１階に統合	

アクシオンリサーチ株式会社　代表取締役　佐藤　友美		設立：2016年12月
テーマ	「健康を科学する」　健康位置と疾患リスクの可視化技術と健康増進プログラム	期待事項
健康位置・疾患リスクを可視化して特定・予測推定するヒートマップやトランジションマップ、予測推定するハイブリッド型AXiR Engine®を紹介する。日本では毎年101万人が癌化して、37万人が死亡する。過去6～7年間は同じ傾向がある。癌化リスク 早期検出 Stage Zero or I が可能であれば、90～98%の人が助かると言われているが、今迄何故、難しいとされてきたのか？ Covid-19は、終息傾向にあるが、未だ、第二波～第三波が心配される中、日本人の重症化が少ない理由の１つである交差免疫を説明し、今後の重症化を防ぐヒントをシェアする。		資金調達 業務提携
PR事項	Blockbuster Tokyo 2020 ファイナリスト 19社採択 World Without Disease ファイナリスト 9社／79社(Janssen/Johnson & Johnson, 武田薬品工業) GLOBAL ACCELARATION PROGRAM 2019 powered by ERA に採択（茨城県・JETRO主催） Plug and Play Japan アクセラレーションプログラム Winter / Spring 2020 Batch に採択 スタートアップアクセラレーションつくば2019 支援プログラム採択	